

東海カード会員だより

2022年2月20日発行

各支部総会・校友会(同窓会・後援会・白鷗会各会員を含みます)日程(予定)

…最新情報や詳細は各担当事務局・または学園校友ユニットへ…

2022.2.5 現在

1. 2月26日 (土) ・同窓会北海道ブロックブロック総会
18:00 ホテル札幌ガーデンパレス
2. 2月27日 (日) ・同窓会東京ブロック東部支部総会
11:00 江東区亀戸文化センター及びオンライン
3. 3月13日 (日) ・星医会総会
12:00 新宿京王プラザホテル

東海大学新聞掲載記事 (2022.1.1号)

【女子バレー】全日本インカレ8度目のV

女子バレーボール部が昨年11月29日から12月5日まで東京都・大田区総合体育館などで開かれた全日本大学選手権大会(全日本インカレ)に出場。決勝で日本体育大学を3-0で下し、6年ぶり8度目の頂点に立った。

大学日本一へチーム一丸 6年ぶり8度目の頂点に

全日本インカレで6年ぶり8度目の大学日本一に輝いた女子バレーボール部。今大会には各地区大学連盟の代表48チームが出場し、新型コロナウイルス感染症への対策が徹底された会場で頂点を争った。

女子バレー部は2回戦から登場し、国士舘大学、九州共立大学にストレート勝ちと好スタートを切った。準々決勝では千里金蘭大学にセットカウント3-1で勝利し、準決勝では秋季関東大学リーグ戦を制した筑波大学と対戦した。横田紗椰香主将(体育学部4年)を中心にチーム一丸となって粘り強くボールを拾い、宮部愛芽世選手(同2年)ら攻撃陣の活躍も光り、3-1で決勝へと駒を進めた。

日本体育大学との決勝戦では、第1セットの序盤こそ1-5と苦しんだものの、その後は相手を圧倒。安定した試合運びで優勝を決めた。

最優秀選手賞を受賞した横田主将は、「学生最後の大会で大学日本一になれて本当にうれしい」と笑顔を見せ、「新型コロナの影響でさまざまな大会が中止となってしまいましたが、その間もメンバーが一丸となって努力を続けてきました。応援してくださる皆さんに心からありがとうと伝えたい」と話した。今大会では横田選手のほかにも、宮部選手がベストスコアラー賞とスパイク賞、中川つかさ選手(体育学部3年)がセッター賞、川畑遥奈選手(同)がリベロ賞を受賞。藤井壮浩監督(体育学部教授)は、「コートに立った選手はもちろんですが、コーチ、マネージャー、トレーナーも全員がそれぞれの役割を果たしたからこそこの優勝だと感じています」と語った。

なお、同大会では男子部がベスト8、札幌校舎男子部は2回戦で岐阜協立大学に、同女子部は1回戦で西南女学院大学に敗れている。

【沖ノ鳥島研究調査航海】

海洋学部が東京都と連携

望星丸で日本最南端へ

東京都と東海大学が昨年12月5、6日の2日間にわたって、海洋調査研修船「望星丸」(国際総トン数=2174トン)で日本最南端に位置する沖ノ鳥島周辺海域の研究調査を実施した。11月に両者が締結した「沖ノ鳥島及び沖ノ鳥島周辺海域における研究調査実施に係る協定」に基づいたもので、周辺海域の海洋調査は初めての試み。都職員や海洋学部の教員、大学院生、学生らによる調査団を乗せた望星丸は、12月2日に静岡市・清水港を出港。現地での調査を終えて10日に帰港した。

今回の研究調査航海は、日本最南端にあり、広大な排他的経済水域(EEZ)の根拠となる重要な国境離島として位置づけられている沖ノ鳥島(東京都小笠原村)について、周辺海域の維持・保全や利活用につながる手がかりを得ることが目的。

(裏面へ続く)

東海大からは、静岡キャンパス長の山田吉彦教授(海洋学部)を調査責任者、石川智士教授(同)を主席調査員として、教職員や大学院生、学生、上河内信義船長ら望星丸スタッフが参加都職員や測量会社のスタッフらも合わせて計56人の調査団が結成され、準備が進められていた。

2日朝に、関係者に見送られて清水港を出港した望星丸は沖ノ鳥島までの最短航路を航行し、5日早朝に現地に到着すると、島の外周に沿って航行して外観を調査。また、直前に同海域周辺で発生していた台風21号の影響もあり強風下での調査を余儀なくされたため、風向きに対して島陰にあたる同島南側を中心に、望星丸に搭載されているマルチナロービームによる海底地形の解析に取り組んだ。

6日にはドローンによる島全景の撮影をはじめ、風速や気温といった気象調査、潮流、潮位などの海象調査、水温・塩分濃度、透明度などの水質調査を実施。また、環境DNA、プランクトン、マイクロプラスチック、栄養塩などの調査のために、水深5メートル付近の海水を採取した。気象条件などを踏まえてAUV(Autonomous Underwater Vehicle)を使った海底地形の撮影など一部の調査は実施が見送られたが、6日午後に現地での活動を終え、帰路についた。

帰港後も研究者による分析を経て調査結果を報告書にまとめるなど、市民の関心、理解につなげるための積極的な活用が図られる計画となっている。山田教授は、「調査航海の成果を生かし、具体的な活用法を打ち出すことで、国際的にEEZの明確な起点であることの主張につなげなくてはならない。そのためにも、国境離島の現状を多くの人々に知ってもらうよう今回の成果を広くアピールしていく」と話した。

東海カード提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国の店舗・施設でご利用いただけます。

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365 システムによる生涯メールアドレスの利用
(tokai-u.jpのドメイン) 詳細は以下URLをご覧ください。
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

インターネットホームページについて

URL : <https://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお問い合わせいたします。

東海大学校友会(校友会・白鷗会・同窓会)事務局
学校法人東海大学学園事務センター(学園校友ユニット)
〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-10-2 TEL 03-3467-2211(代表)
E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学キャンパスサポートオフィス(後援会担当)
〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211(代表)
E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp